

2025年韓日国交正常化60周年イベント

11.11[月] パンソリ合唱 / 11.13[水] 韓日伝統交流舞台

来年、韓国と日本は1965年の韓日国交正常化から60年という節目を迎えます。

駐日韓国文化院では、2025年韓日国交正常化60周年を記念するイベントとして、韓国の伝統芸能に触れることができる舞台公演を駐日韓国文化院 ハンマダンホールで二日間開催します。

11月11日(月)の公演は、韓国の伝統芸術を新しい試みで披露する舞台「パンソリ、合唱と出会う ～季節：SEASON～」です。「パンソリ合唱」という新しいジャンルを切り拓いた「全州パンソリ合唱団」が伝統を越えて新たに創作した合唱曲をお届けします。

11月13日(水)の公演は、韓国と日本の伝統交流舞台「同行」をお送りします。韓国と日本を代表する舞台芸術の名人を招き、パンソリ・能・伝統舞踊・伝統楽器の演奏など、両国の芸術世界を総合的に紹介するとともに、伝統楽器の協演、伝統と現代音楽のコラボレーション、韓日出演者による合同舞台など、未来志向的な韓日関係へのメッセージを発信する舞台を披露します。

つきましては、本イベントの周知にご協力をお願いします。写真資料、出演者の詳しいプロフィールなどのご依頼、ご取材のお申込については、韓国文化院までご連絡ください。

★マスコミの方々でご観賞をご希望の方にはお席をご用意いたしますので、メール《 pr@koreanculture.jp 》までご一報ください。



【イベントⅠ】

- 行事名：パンソリ、合唱と出会う ～季節：SEASON～
- 日時：2024年11月11日(月) 19:00開演(18:30開場)
- 会場：駐日韓国文化院 2F ハンマダンホール(東京都新宿区四谷4-4-10)
- 主催：韓国文化体育観光部、駐日韓国大使館 韓国文化院、全州パンソリ合唱団



【イベントⅡ】

- 行事名：第12回 韓日文化交流公演「同行」
～ 輝煌(フィファン)Ⅱ 韓日交流の華麗なる遺産Ⅱ～
- 日時：2024年11月13日(水) 19:00開演(18:30開場)
- 会場：駐日韓国文化院 2F ハンマダンホール(東京都新宿区四谷4-4-10)
- 主催：駐日韓国大使館 韓国文化院、韓日文化交流会議 / 後援：韓国文化体育観光部

★観覧について：無料、事前申込制、韓国文化院 HP [www.koreanculture.jp] よりお申込み

– 11.11「パンソリ合唱」：300名募集、応募締切 10.27

– 11.13「同行」：200名募集、応募締切 10.30

《お問い合わせ》 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 www.koreanculture.jp

イベント担当 朴志勲(パク・ジフン) / 広報担当 趙恩京(ジョ・ウンギョン)

イベント I

パンソリ、合唱と出会う ～季節：SEASON～ (11/11^日 19:00)

【プログラム】

パンソリは長鼓（チャング：太鼓の一種）のリズムに乗せ、長い話を歌（チャン）とセリフ（アニリ）で身振りを交えながら2人で演じる民俗音楽です。人の口から口へ歌い継がれてきた口承芸術で、全盛期には12編の演目があったとされていますが、現在まで伝わっているのは5編のみです。

今回は韓国の民俗芸能を代表するパンソリを新たに作曲した合唱曲を中心に披露します。

◆演目：新 広大歌 / 新 四節歌 / 絹打令&飾り箏笥打令 / 美しくあれ / 開南よ、開南 / 忘却 / 哀愁の秋夜 / 豊年歌 / 興打令 / 沈学奎、開眼す（パンソリ「沈清歌」より） / 広野（11曲予定）

【出演者】

全州パンソリ合唱団

2006年に創立し、パンソリ合唱というジャンルを開拓した全州パンソリ合唱団は、創作によるパンソリ独唱と合唱を通じた正統パンソリの裾野を広げると共に、伝統文化遺産の再発展に努めている若きエネルギーを持つ中堅団体である。5つのパンソリと民謡、説話をもとに再創作した曲を合唱とアカペラで披露し、様々なアーティストとのコラボレーションを通じてジャンルを行き来する活動をしている。最近ではパンソリ音楽劇を上演するなど、多様かつ実験的な舞台を披露している。



パン・スミ

全州パンソリ合唱団 団長
韓国国立民俗国楽院 唱劇団 指導委員
2019 韓国経済文化大賞 国楽部門受賞
2018 KBS 国楽大賞 パンソリ賞受賞
2016 第17回 パク・ドンジン パンソリ名唱名鼓大会大統領賞受賞
2015 千年全州 千人喝采賞受賞
2012 韓国文化体育観光部選定 今年の若き芸術家賞伝統芸術部門受賞

イベント II

第12回 韓日文化交流公演「同行」～輝煌II 韓日交流の華麗なる遺産II～
（11/13^水 19:00）

【プログラム】

パンソリ、能、舞踊、楽器演奏、両国の楽器及び伝統と現代音楽の協演、韓日合同舞台などを披露

【出演者】

韓国と日本を代表する舞台芸術の名人17名（予定）

鞠守鎬（クク・スホ）

韓国の舞踊家兼振付師
Kook Soo Ho DIDIM 舞踊団芸術監督
(前)韓国国立舞踊団長兼芸術監督
(前)韓国中央大学舞踊学科教授
韓国重要無形文化財僧舞履修者



金昴先(キム・ミヨソン)

韓国国家無形文化遺産僧舞伝承教育師
大韓民国文化勲章叙勲
徳島県文化功労賞表彰
韓国国楽大賞受賞
大韓民国韓流大賞伝統文化功労賞
韓国伝統公演芸術競演 大会総合大賞 大統領賞受賞





大倉正之助

重要無形文化財保持者（能楽総合）

九歳で初舞台を踏み、十七歳で大鼓に転向

国内外で多彩なアーティストのコラボや多元的イベントのプロデュースを手掛ける

上皇皇后両陛下やクリントン大統領前での演奏、バチカン市国での独奏

国際的な舞台での演奏経験多数



宋在永(ソン・ジェヨン)

全羅北道特別自治道無形遺産 沈清歌保有者

全州大私習ノリ保存会理事長

全州大私習ノリ名唱部状元大統領賞受賞



津村禮次郎

重要無形文化財保持者（能楽総合）

能楽師・シテ方観世流、緑泉会会主

(公社)能楽協会、(一社)日本能楽会会員

二松学舎大学文学部特任教授

一橋大学社会学部講師



ヒダノ修一

Stevie Wonder、Herbie Hancock、Sheila E.ほか世界最高峰アーティストと多数共演

1989年に太鼓芸能集団・鼓童で修行、1990年ソロデビュー

2013年「世界一の太鼓演奏技術を持つ人」に認定

天皇皇后両陛下やダライ・ラマ法王14世など御前演奏も多数



三好荒山

日本を代表する尺八演奏家

39歳にして尺八界最高の称号である「竹林軒」

海外公演多数

関栄治 国楽人、チャンゴ

幸信吾(小鼓) 重要無形文化財保持者（総合指定）

姜相求 作曲・ピアノ

李俊燮 笛

一噌幸広(笛) 重要無形文化財保持者（総合指定）

高橋佳子 箏

金兌映 鼓手

栗弘昂 四国八十八ヶ所 13番札所大日寺住職

鄭勝準 歌曲

李在河 コムンゴ

ディディム舞踊団、韓国打楽グループ TAGO

Hidano Super TAIKO Project (しんた、高田淳、大沢しのぶ、シンゴ)

